



日本の国立公園と世界遺産を活かした地域活性化推進費

2019年度要求額
450百万円（389百万円）

背景・目的

日本には世界の人々を魅了する豊かな自然が多数存在

国立公園等の自然や自然に根ざした地域の文化は、観光資源等として極めて高い価値を有している。



日本の自然を活かし、国内外から多くの観光客を呼び込み、地域を活性化。

事業目的・概要等

イメージ

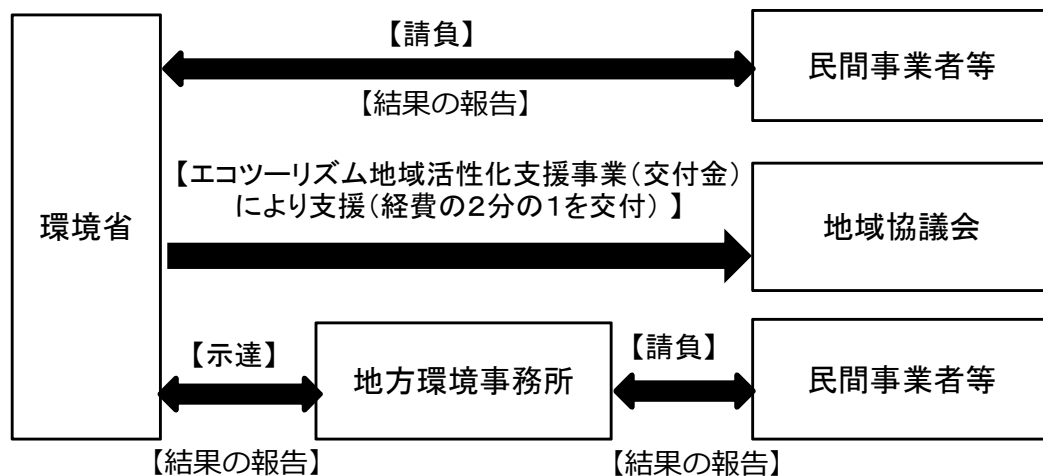


我が国は、観光資源等としてポテンシャルの高い豊かな自然を多数有する

事業概要

- ① エコツーリズム、ジオパーク、ボランティア体制等における地域連携の強化と運営管理の抜本的向上
- ② 子どもの自然体験活動の推進体制強化
- ③ 国立公園等における質の高い保護管理

事業スキーム



魅力をさらに引きだすプログラム等を実施

① 国立公園等地域活性化促進連携事業

エコツーリズム、ジオパーク、ボランティア体制強化や協働型管理運営体制の導入により地域とともに利用推進。



② 国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業

国立公園等において、子どもの自然体験活動の推進体制及び受入体制を強化。



③ 日本の国立公園・世界自然遺産保護管理強化事業

貴重な自然環境は、国の資産。国立公園、さらには世界遺産として、質の高い保護管理を実施。



期待される効果

国立公園等の自然資源を保全し、これを活かした地域づくりに寄与することで、地方経済の活性化や地方の雇用機会を創出する。

国立公園等の利用者増による地域の活性化及び雇用機会創出